

俣郷

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

真理を追究する

急に朝夕が涼しくなってきました。体調が悪い子どももいるようです。予報をみるとまだカラツとした秋晴れとはいかないようです。

運動会では、ご家族の皆様、地域の皆様、ご来賓の皆様のご臨席をいただき、惜しみないご声援をいただきましたことを、厚くお礼申し上げます。

子どもたちは、休む間もなく文化祭の準備に取りかかっているところです。運動会と同じように、また新しいページができることを楽しみにしています。

涼しいといえば、日頃「温度とは何だろう」と考える人はあまりいないですね。

子どもたちは理科の授業で、ものは小さな粒子からできていることを学びます。今の科学では、もの「温度」は、そのものを作っている粒子がどれだけ動いているかで決まると考えられています。激しく動くほど温度が高く、ゆっくりだと温度が低いです。

そう考えると、ゆつくりの最低の状態は「止まっていること」ですから、温度には最低があるということになりますね。その温度を「絶対零度」といいます。おもいごとくしょう？

とても忙しい日々ですが、これから秋の夜長、読書をしたり、いろいろなことを考えたりするには絶好の季節です。たまには心に余裕をもつて、日頃から身の回りの「何でだろう。何だろう。」と思っていることをちよつと考えてみるのもいいかもしれません。

物事の「真理」を探ろうとする情熱、これは人間だけに与えられたすばらしい特権だと思いますか。

＜第6回小中合同運動会が盛会のうちに終わりました！＞

今年度で6回目を迎える小中合同運動会が、多くの方々に支えられ盛会のうちに終わりました。

昨年は雨の中の運動会でしたが、今年はそよ風が吹く中、これ以上望めないぐらいの晴天のもと行うことができました。(私も「雨男」返上かもしれません)

「限界突破」(中学校)「力を出し切れ、須木っ子たち」(小学校)のスローガンのもと、かわいい3名の小学校1年生による代表あいさつ、小中4名の団長による力強い誓いの言葉から運動会が始まりました。

小中8名の団長、副団長がリーダーシップを発揮し、競技に演技に応援にと、児童生徒一人一人が大車輪の活躍でした。小学生のあどけなさ、かわいさ、一生懸命さ。中学生のたくましさ、力強さ、リーダーシップがとても印象に残っています。

合同練習のとき、「一人一人が輝き、全体が輝く運動会にしよう」と呼びかけました。まさにそんな運動会になりました。会場に集った大人が君たちの姿にどれだけ元気もらったことでしょう。

実行委員長の内山君、副実行久保田君、鹿島君、瀬之口君、保さん、西道さん、そして全て運動会をありがとう。



【力強い誓いの言葉】

委員長の黒木君、団長の井上君、副団長の石川さん、田尻さん、京の児童生徒の皆さん、すばらしい



【白団：応援優勝】



【堂々の入場行進】



【赤団：競技優勝】